

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2005. 4. 28 No. 1

北海道ボランティア・レンジャー協議会

春告鳥 ウグイス Q & A

ようやく雪の消えた森の中からウグイスの囀りが聞こえてきました。春告鳥といわれる通り、この鳥の囀りは春の到来を実感します。ヤブにウグイスの言葉や花札に登場するように日本人にとって馴染みのある鳥ですが、声はすれども姿が見えずで、なかなか個体を観察することができません。そこで、ウグイスの生態についてQ & Aでまとめてみました。

Q : ウグイスの名の由来を教えてください。

A : 名前の語源は、昔の人が、さえずりを「ウーウクイ」と聞き、それに小さな生き物を表す接尾語「ス」をつけたと言われています。また、谷の奥（オク→ウク）から出て（出ズ）きてさえずるからだという説もあります。いずれにせよ、昔の人は「ホーホケキョ」より「ウーウクイ」と聞こえていたのでしょう。

Q : 雄と雌の見分けかたを教えてください。

A : 雄と雌は羽色等での識別は難しく、体型の大きさが雄雌を判断する手がかりとなります。翼長60~62mmを基準に大きいものが雄、小さいものが雌です。ですから野外での観察で瞬時の判別は出来ないでしょう。

Q : 雄は何のためにさえずるのですか。

A : 雄がさえずる理由の多くは、なわばりを守ることにあります。さえずりには「ホーホケキョ」と聞こえる高い声のH型と、「ホー」の部分が断続的になり「ホーホホホケキョ」等と聞こえるやや低い声のL型があります。L型のさえずりはライバルの雄を威嚇する時に発します。

Q : 谷渡りの鳴き声はどのよなとき、発するのですか。

A : 谷渡りは「……ケキョケキョケッキョケッキョ……」とけたたましい鳴き声で、繁殖期に発します。ワシタカ類や人間が現れたとき鳴くことがあるので、警戒の意味がると言われています。けれども、谷渡りを聞いて雌が巣に逃げ込む様子はなく、少なくとも雌に対する警報ではないようです。

Q : つがいになるプロセスを教えてください。

A : 雄は繁殖期になると20,000㎡ほどの縄張りをつくり毎日さえずりながらパトロールします。

縄張りに雌がやってくると、雄は求愛鳴きをしながら近付きます。この求愛鳴きは大変小さい声ですが、この声を覚えると、ウグイスの繁殖を知るのに役立ちます。

多くの鳥では程度の違いがあるにせよ、雄は交尾のあと雌に連れ添い、巣作りや抱卵、ひなへの給餌を行います。ウグイスの雄はそれらの仕事を一切行わず、交尾後も新たな雌の獲得のため、ひたすらさえずり続けます。また、雄の連れ添い行動がないため、雌がつがい外交尾をおこなうことが知られています。このようにウグイスは、つがい関係が大変希薄な一夫多妻の婚姻システムを持つ鳥なのです。

ケヤマハンノキ

公園内ではカバノキ科のケヤマハンノキの赤みがかった穂状の花があちこちで見られます。同じ科のシラカンバも同じような穂状の花をつけています。この穂状の花の雄花を雄花穂^{ユウカスイ}、雌花を雌花穂^{シカスイ}といいます。

ケヤマハンノキは目に届く位置で観察できますので雄花穂や雌花穂、また葉になる芽（有柄芽という特徴がある）、葉痕が隆起して3個の維管束痕等をしっかり見ましょう。

ケヤマハンノキを切ると、樹皮から赤っぽい水分がにじみ出るので、アイヌの人たちはこれを血と考え、怪我などで出血したとき煎じて服用し、補血強壯剤としたといわれています。



自家不和合性 -エゾエンゴサク-

雪解け後すぐに可憐な花をさかせるエゾエンゴサクは樹木の葉が開かぬ前に日光を利用する植物、スプリングエフェメラルの一つです。エゾエンゴサクは同じ株の花粉では種子をつくれません。このようなことを「自家不和合性」といいます。ですから、他の株から花粉を運んでもらって種子を作ることになります。花粉を運ぶ担い手はハチなどの昆虫です。気温の低い時期に咲くエゾエンゴサクはハチなどが活動するチャンスを得るため開花期間が長く、気温が高くなるに従ってハチが訪れる機会が増えるため開花期間が短くなります。エゾエンゴサクは中国名、延胡索と書き、薬用植物として入ってきたものです。

エゾアカガエル

大沢口からふれあい交流館に向う左手の水溜まりにエゾアカガエルが集まり産卵行動をしています。エゾアカガエルは雌雄とも繁殖産卵場所にたいする環境選択性が強く産卵期になると、かつての生まれ育った水場に戻ってくる性質があります。また、カエルの仲間は種によって違いはありますが、生活の場として水のある場所以外に湿地や草地や森林を必要としていて、バランスのとれた環境がなければなりません。

私たちが目にするカエルの多くはエゾアカガエルとアマガエルですが、この他に北海道には、アズマヒキガエル、トウキョウダルマガエル、トノサマガエル、ツチガエル、ウシガエルが棲息していると言われていますが、エゾアカガエル、アマガエル以外は全て移入種です。

観察会情報

●春のありがとう観察会 5月15日(日) 10:10~14:30

大沢口 ふれあい交流館前集合 昼食持参

雪の解けた森のゴミを拾いながらの観察会です。森の恵みに感謝をこめ、公園内のゴミを拾いながら咲き始めた野草を観察しましょう。

●三角山登山観察会 5月29日(日) 10:00~14:00 緑花会前登山口(弁当持参)

ゆっくりと花を観察しながら登ります。大倉山までいきます。花と札幌の展望を楽しみながら歩きましょう。